

2014年3月期 第1四半期

(2013年4月～6月)

決算説明資料

アイ・ティー・シーネットワーク株式会社

(東証第1部 証券コード:9422)

- 当社が開示する情報の中には、「将来の見通しに関する記述」が含まれていることがありますが、これらは現在において入手可能な情報及び仮定に基づき当社が作成したものであり、その内容を保証するものではありません。
- 実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

1

2014年3月期第1四半期 決算概要

2

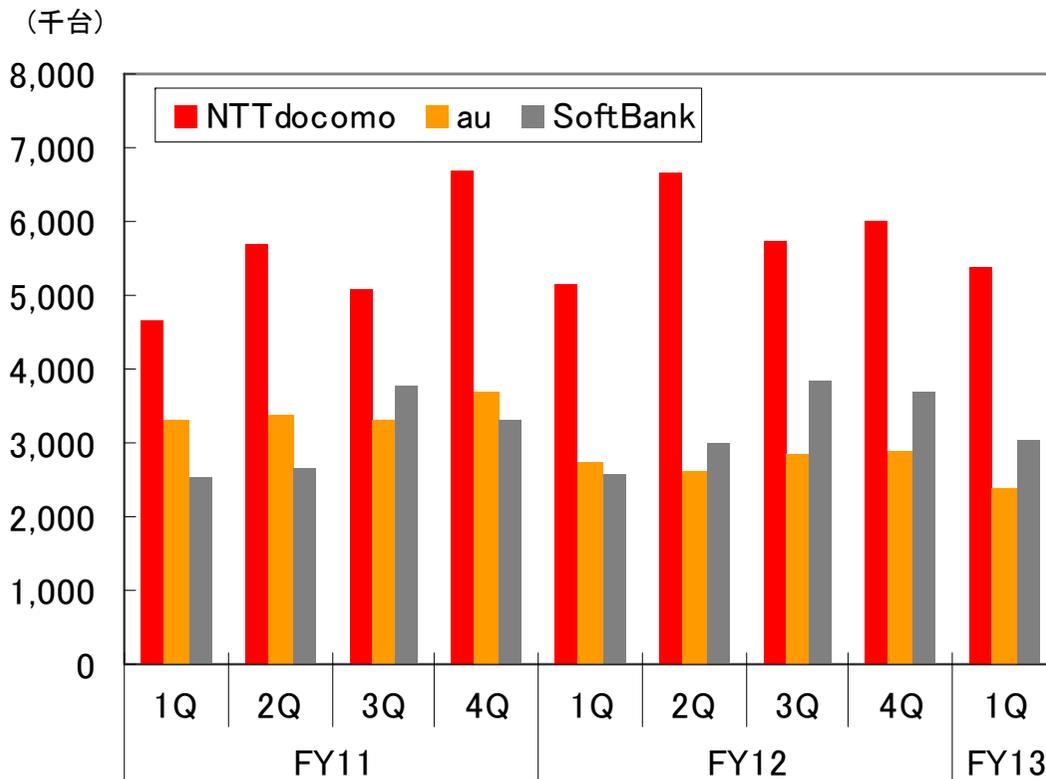
新社名・新企業理念について

1

2014年3月期第1四半期 決算概要

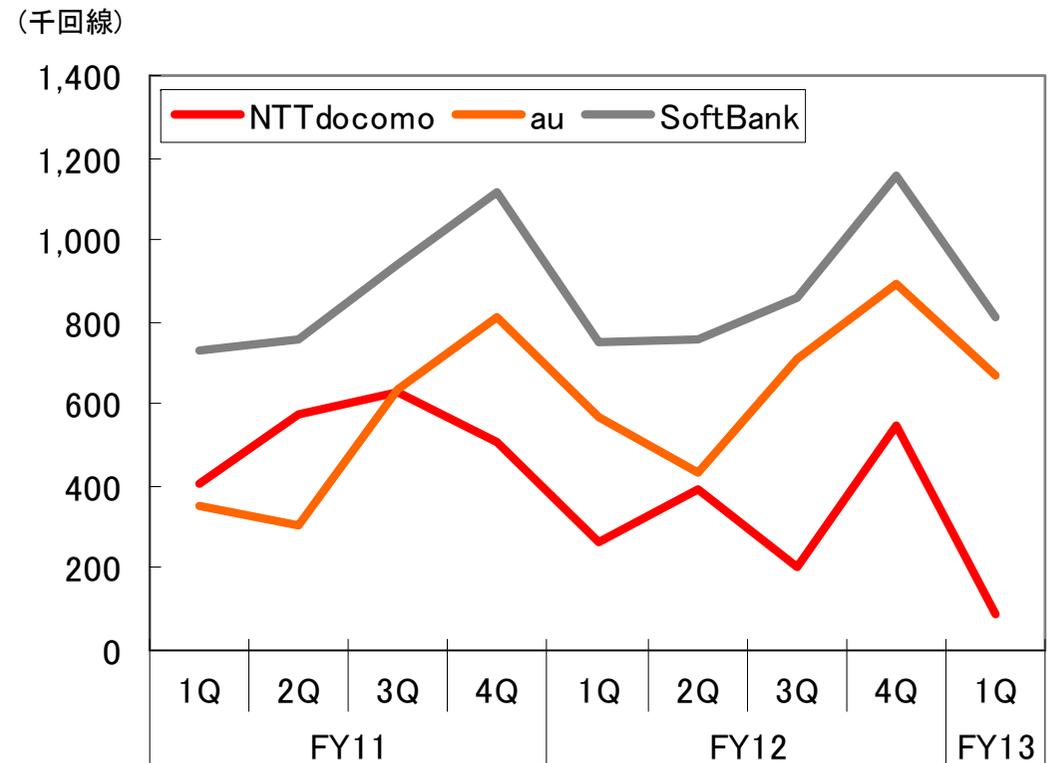
スマートフォンへの買替が促進され販売は堅調に推移

販売台数



※出典：各社決算発表資料
 ※auの販売台数はFY12以降はパーソナルセグメントを掲載

純増契約数



※出典：各社決算発表資料

決算概況

合併にともない、販売台数・売上高・営業利益・四半期純利益とも大幅増

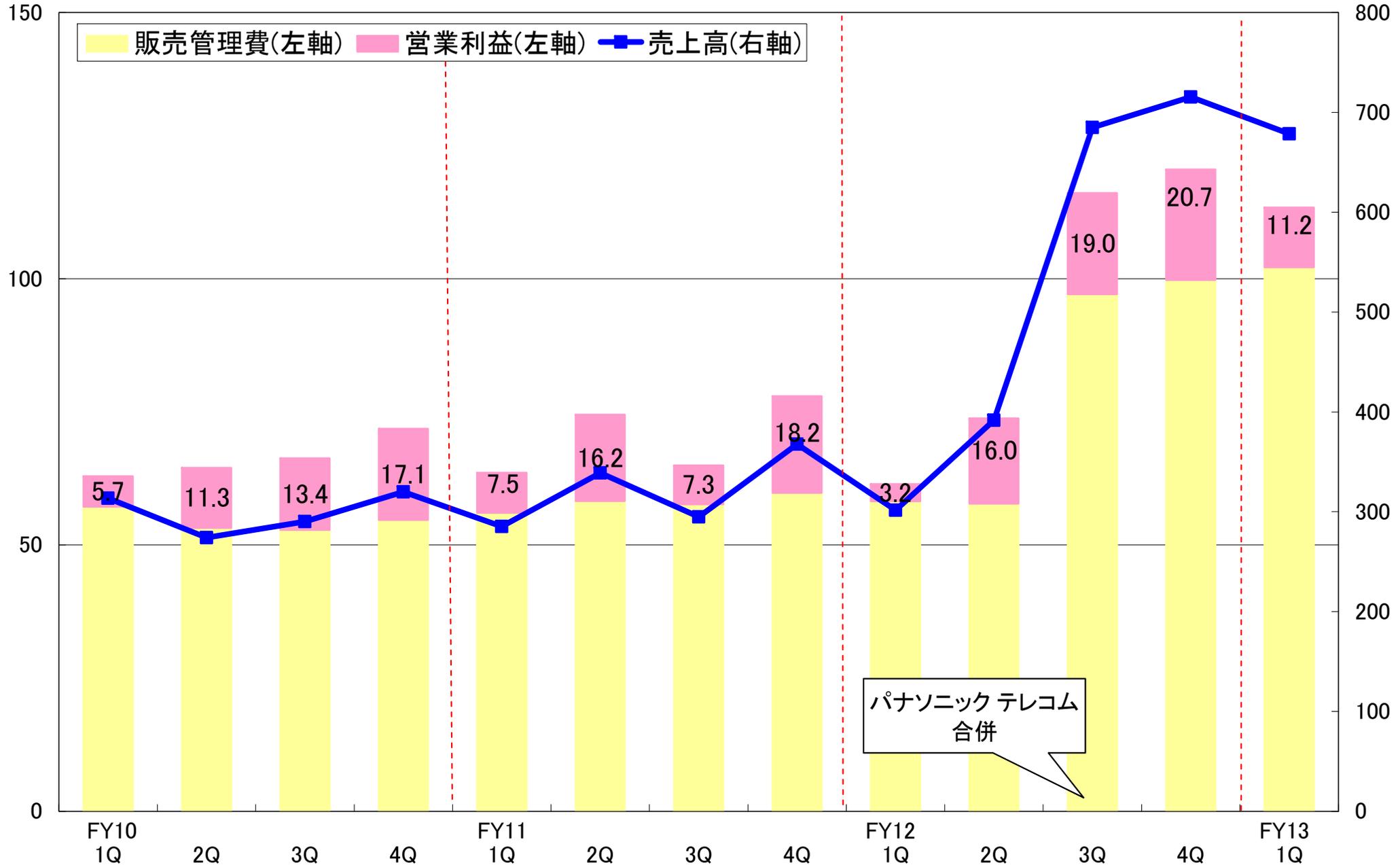
[単位:百万円]	2012/4-6 1Q A	2013/4-6 1Q B	増減率 B/A	2014/3通期 予想 C	進捗率 B/C
	販売台数(万台)	40	75	+86.3%	-
売上高	30,143	67,855	+125.1%	300,000	22.6%
売上総利益	6,147	11,337	+84.4%	-	-
販売管理費	5,823	10,214	+75.4%	-	-
営業利益	324	1,123	+246.3%	7,800	14.4%
経常利益	349	1,152	+230.0%	7,800	14.8%
税引前四半期純利益	307	1,089	+254.5%	-	-
四半期純利益	81	508	+526.5%	4,350	11.7%
EBITDA	732	1,813	+147.5%	-	-

※前期の実績は旧アイ・ティー・シーネットワーク(株)のみ

四半期業績の推移

経費・利益(億円)

売上高(億円)



パナソニック テレコム
合併

当第1四半期の進捗状況

■ コンシューマ事業

- NTTdocomoのツートップを始めとしたスマートフォン新機種販売により販売増
- 新店開設(4店舗)、2次代理店の増加(3店舗)
(ドコモショップ[○]370店舗、auショップ[○]53店舗、ソフトバンクショップ[○]4店舗、合計427店舗)
- 移転・改装(12店舗)

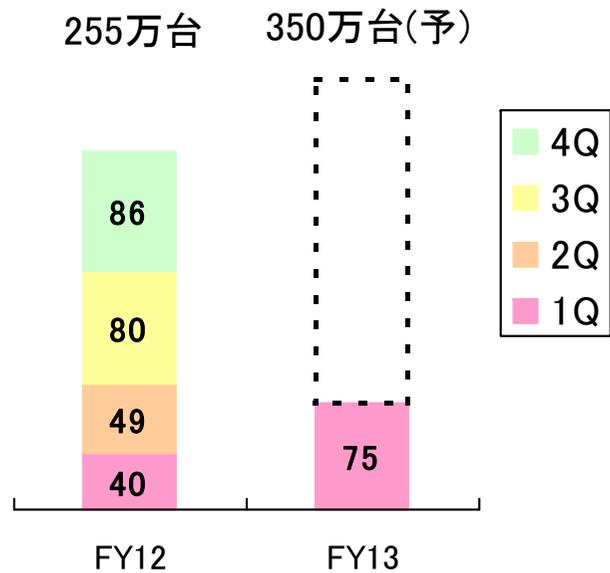
■ 法人事業

- 合併に伴い顧客基盤が拡充したことを受けクロスセルを強化
- 提案営業により、マネージドサービス、MDMサービスの導入を推進
- プリペイドカード(POSAカード)の販売好調
- 住宅向けインターネット接続サービス、MVNO、M2Mを提供
- クラウドサービスの展開

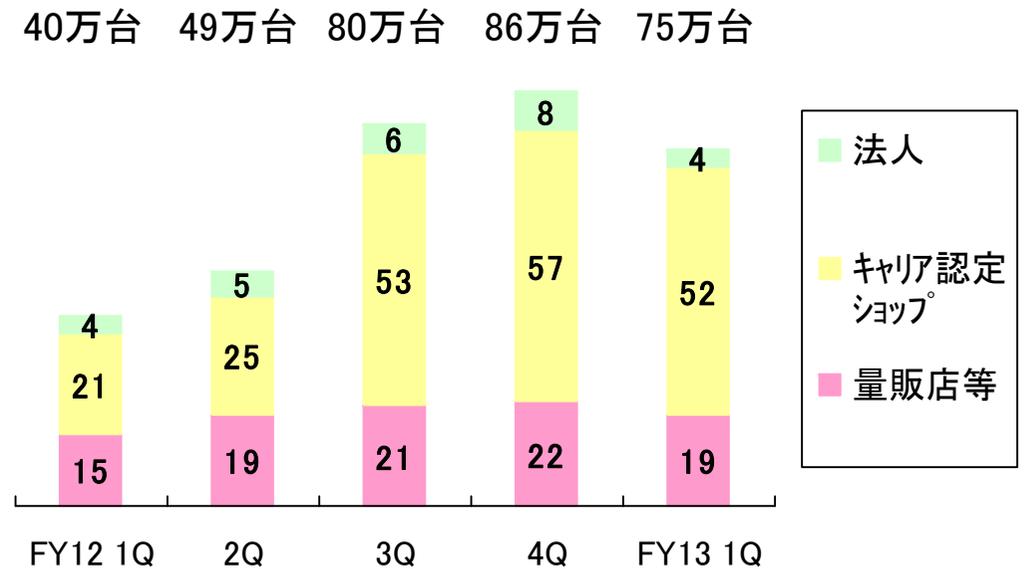
販売台数実績

合併による規模拡大、新機種の販売が早まったことにより販売台数増加

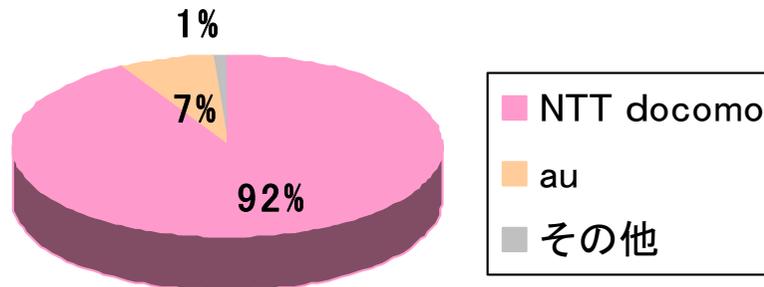
〔期間別〕



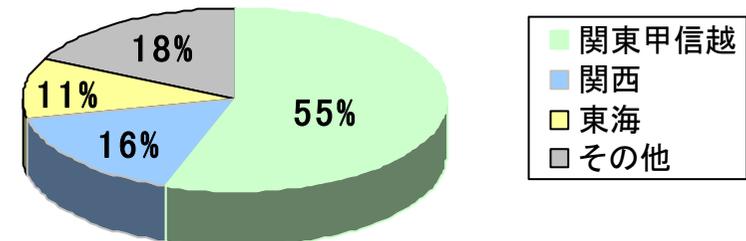
〔チャンネル別〕



〔通信キャリア別〕



〔地域別〕



事業の種類別売上高・営業利益

コンシューマ : 合併による規模拡大で大幅増収増益
法人 : マネージドサービスの獲得増やPOSAカードの販売好調により増収増益

[単位:百万円]			2012/4-6	2013/4-6	増減率B/A
			1Q A	1Q B	
売上高合計			30,143	67,855	125.1%
コン シューマ 事業	商品売上高	商品売上高	17,728	46,497	162.3%
		手数料収入	9,036	17,569	94.4%
	売上高		26,765	64,066	139.4%
	営業利益 ※		475	1,678	253.2%
法人 事業	商品売上高	商品売上高	997	1,054	5.7%
		手数料収入	1,830	2,032	11.0%
		プリペイドカード情報	549	701	27.7%
	売上高		3,378	3,788	12.2%
	営業利益 ※		303	364	19.9%

※営業利益は間接部門経費配賦前

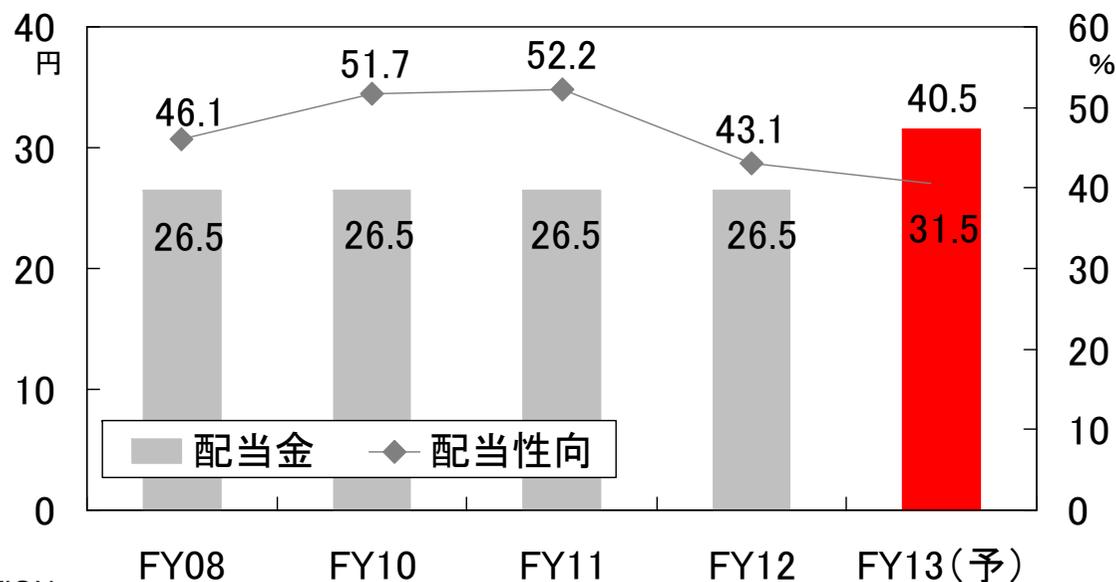
※前期の実績は旧アイ・ティー・シーネットワーク株のみ

株主の皆様に対する利益還元を重要な経営課題と認識
 配当性向40%超を基本方針とする

【1株当たり配当金 単位:円】

	中間	期末	通期	総額(百万円)	配当性向
2013/3	13.25	13.25	26.50	1,333	43.1%
2014/3(予)	15.75	15.75	31.50	1,761	40.5%

1株当たり配当金・配当性向



2

新社名・新企業理念について

■ 新社名

コネクシオ株式会社(英文表記 CONEXIO Corporation)

■ 由来

コネクシオ(CONEXIO)は、ラテン語の「絆」を語源とします。

コネクシオには、私たちが、お客様一人ひとりの想いを大切につなぐとともに、つながるすべての人々へよろこびの輪をひろげ、信頼の絆を深めていく、という願いと熱き決意が込められています。

■ 変更予定日

2013年10月1日(火曜日)



人をつなぐ、価値をつなぐ

人をつなぐ、価値をつなぐ

私たちが目指すこと
(存在意義)

私たちは、一人ひとりの想いを大切に、
お客様の感動を生み出し
安心して快適な暮らしと社会の実現に貢献します

私たちが大切にすること
(経営姿勢)

一人ひとりが主役

私たちは、自主・自律する一人ひとりが
互いを尊重し合う環境を育みます

つなぐよろこび

私たちは、自らの成長を原点に、つながるすべての人々へ
よろこびの輪をひろげ、信頼の絆を深めます

社会を担う責任と誇り

私たちは、暮らしとビジネスのライフラインを担う
責任を深く自覚し、誇りとします

私たちの判断や行動のよりどころ
(行動指針)

私たちは、お客様のために

主体的に

自ら考え、自律的に行動し、新しいことに挑戦します

フェアに

高い倫理観をもって公正に行動します

誠実に

感謝を心に刻み、素直な心で行動します

チームワークのもとに

多様性を活かし、高い成果を生み出します

現場を起点に

お客様接点である現場を大切に、発想し行動します

考え、行動します

参考資料：会社概要

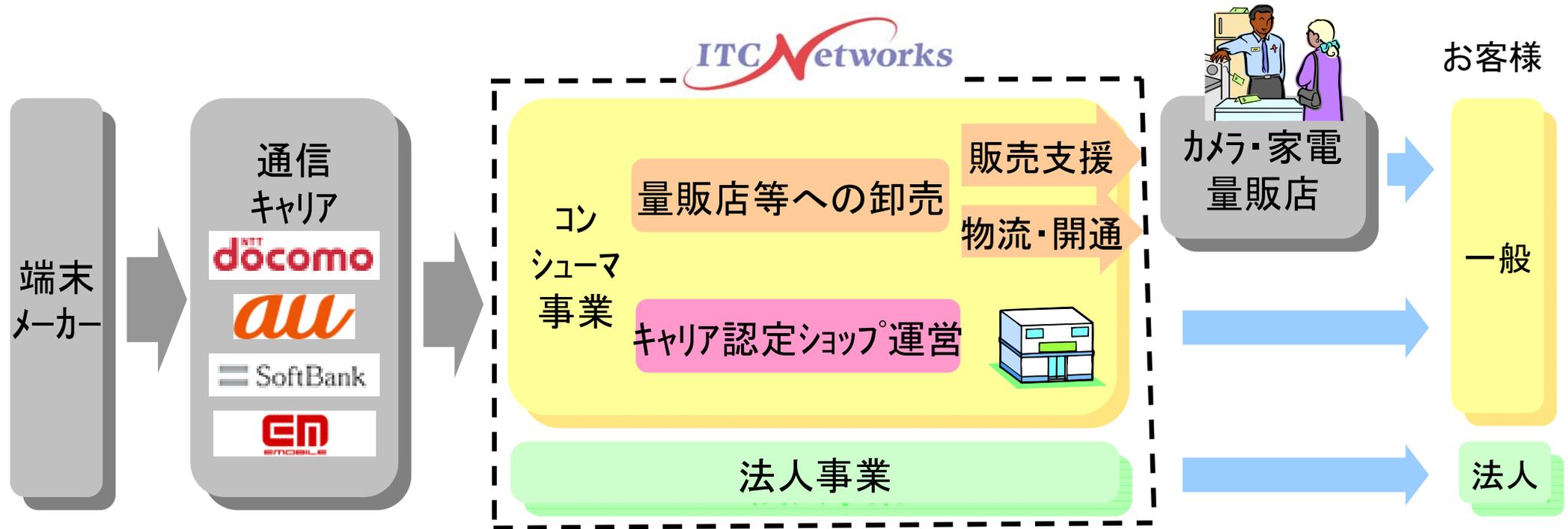
会社概要

- 社名 : アイ・ティー・シーネットワーク株式会社
ITC NETWORKS CORPORATION
- 本社 : 東京都渋谷区恵比寿四丁目20番3号
恵比寿ガーデンプレイスタワー26F
- 代表者 : 代表取締役社長 井上 裕雄
- 設立 : 1997年8月 (現在第17期)
- 事業内容 : 携帯電話の卸売・販売及び携帯電話
を利用したソリューションサービスの提供
- 資本金 : 27億円
- 主要株主 : 伊藤忠商事(株) 48.27%
パナソニック モバイルコミュニケーションズ 20.00%
- 従業員数 : 5,031名 (2013年6月30日現在)

沿革

- 1991年 : 伊藤忠商事(株)が携帯電話販売事業に着手
- 1992年10月 : ドコモショップ八王子店(ショップ1号店)OPEN
- 1997年 8月 : 伊藤忠商事の100%出資により、同社の通信関連事業の業務受託会社として当社設立
- 2002年 4月 : 伊藤忠商事からの会社吸収分割により、一次代理店としての地位を承継
- 2006年 3月 : 東証2部に株式上場
- 2006年 8月 : (株)ドムコミュニケーションズを100%子会社化
- 2007年 4月 : (株)ドムコミュニケーションズを吸収合併
- 2007年12月 : 東証1部銘柄に指定
- 2008年 7月 : (株)日立モバイルの携帯電話販売事業を買収
- 2012年10月 : パナソニック テレコム(株)と合併

事業概要



販路ごとの特徴

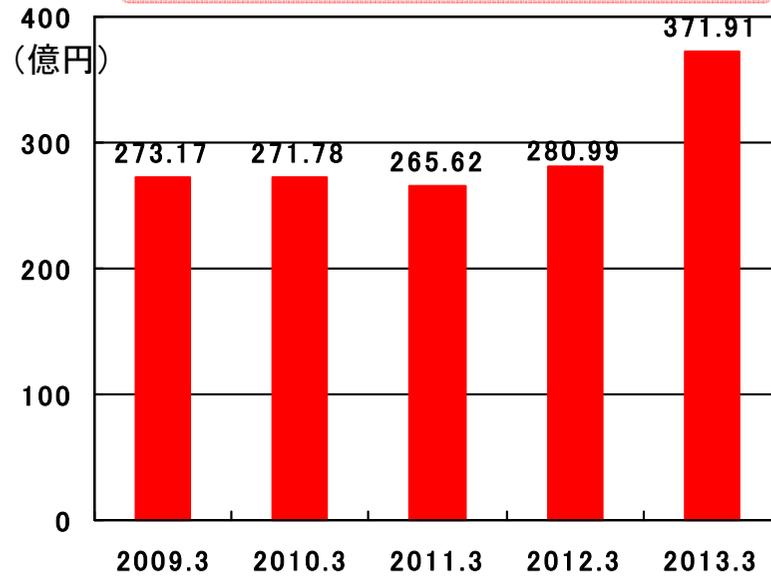
量販店・・・圧倒的な集客力で販売ボリュームを獲得
キャリア認定ショップ・・・安定したアフターサービス収益を獲得
法人・・・市場の成長余力が高く、フッシュ型営業が展開可能

バランスの取れたチャネル構成による

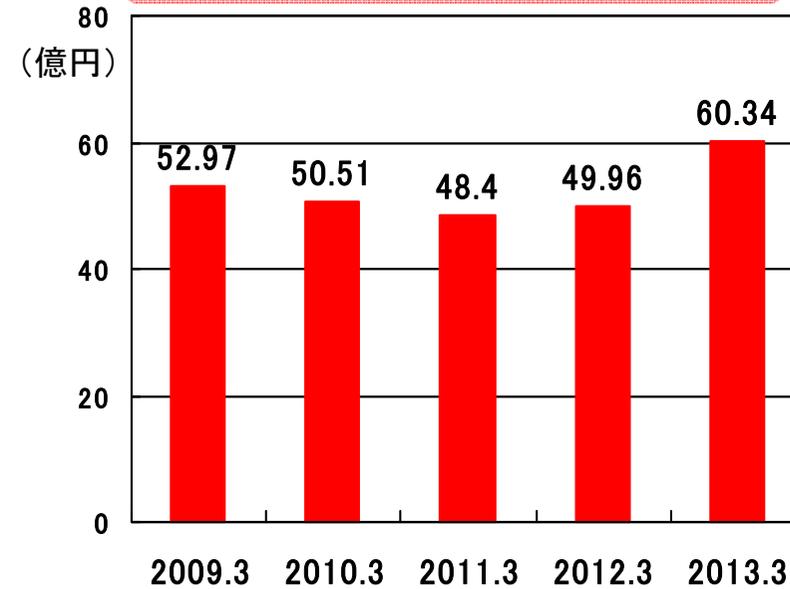
高い収益効率

NTTドコモ東名阪地区の運営店舗数No.1
「量販店・キャリア認定ショップ・法人」のバランス良いチャネル構成

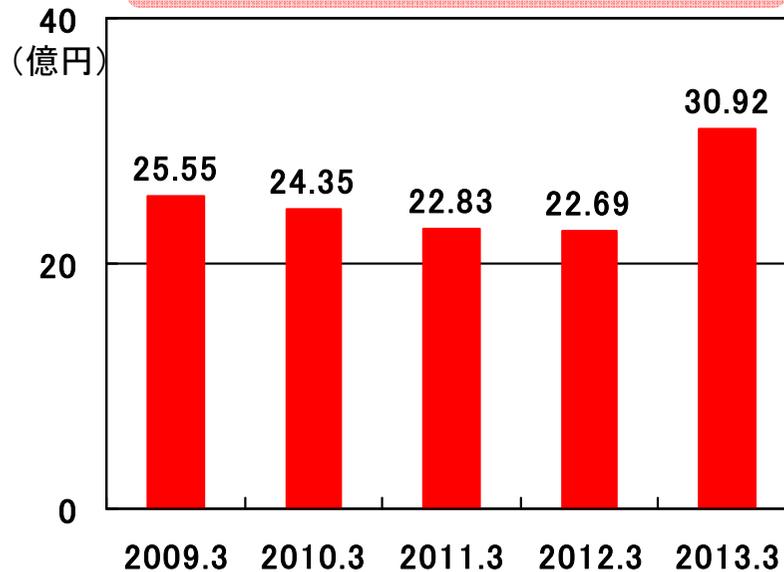
売上総利益



経常利益



当期純利益



総資産

